

目 次

これからの図書館運営について

小森 成一 1
利用者向けポイントガイド—耳寄りな情報— 2
オープンアクセスをめぐって：図書館総合展出張報告 3
第10回図書館総合展（パシフィコ横浜）の フォーラムについて	竹田 深佳 3

GVRL (Gale Virtual Reference Library) の紹介 4
電子ジャーナル (EJ:Electronic Journal) について 4
2009年外国雑誌購入変更リスト 5
機関リポジトリについて 6

これからの図書館運営について

図書館長 小 森 成 一



平成20年4月から、現学長・森秀樹先生のあとを受け
て図書館長を仰せつかっています。図書館は知の案内人
として教育・研究活動や人材育成になくてはならない学
内施設です。また、地域社会にあっても大切な知の宝庫、
情報源です。いま、大学の財政が厳しさを増すなか、図
書館運営も難しくなってきています。しかし、大学の活
力源ですので、そうした状況に萎縮することなく、知の
案内人としての役割の充実、強化に努めていく所存です。

この機会に、私の目から見た図書館をめぐる課題・問
題をいくつか紹介しておきたいと思います。

(はじめに：読書のすすめと図書の収集)

学生が本を読まなくなったと言われ始めて久しい。15
年ほど前、電車内の吊り広告に「卒業したら新聞ぐらい
は読もう」というのがありました。新聞社が出た広告
ですが、学生の活字離れがわかります。本学では、学生
憲章のトップに「本をたくさん読み、学んでいく上で
の土壤を作ろう」を掲げ、学生に読書を呼びかけています。
しかし、最近のデータによれば、学部生一人が1年間に
図書館から借りる本は10冊とのことで、ここからは積極

的に読書する学生像は見えてきません。

優れた人材となるには、知識・技術を修得する学問(芸
の学)と共に、人間や人生を探求し人徳形成に結びつく
学問(道の学)に励むことも大切です。

先般、教養教育推進センターから「人生を決めた書物」
という小冊子 Vol. 1が刊行されました。これは本学の50
人の先生が自分の人生や進路に大きな影響を与えた本を
エピソードと共に紹介している読書案内であって、読書
の促進にとって意義ある取り組みです。図書館としま
しても、今回紹介された50冊、そして今後紹介される本す
べて取り揃えることにより、その取り組みを支援し、優
れた人材育成に寄与したいと考えています。

関連して、留学生を含め学部生や大学院生が自学自習
をする上で必要とする本が図書館にない場合があります。
そのため、限られた予算内ですが、こうした本を学
生さんが直接リクエストできる制度があります。しかし、
その制度の存在やリクエスト方法が学生さんに十分周知
されていないようですので、今後は、AIMS-Gifuなどの
電子情報や図書館内掲示などいろいろな方法でさらに周
知できるよう善処する予定でいます。

(国内学術雑誌)

図書館で受け入れている国内雑誌と外国雑誌のほとんどは各学部等の研究費で支えられています。しかし、国内雑誌は1997年に比較して約400誌から230誌に半減しました。これは外国雑誌の高騰により、和雑誌へ研究費が回らなくなつた事情によるものです。図書館としては、財政の厳しいなか図書費等を投入し、それ以上和雑誌が減らないようくい止めているのが現状です。

今後、教養の涵養に資する雑誌をはじめ現在購入している一般雑誌も含めて、購入すべき和雑誌の見直しを考えています。

(外国雑誌・電子ジャーナル)

本学が購入している印刷体の外国雑誌は1997年の約1,900誌から640誌に激減しました。これは電子ジャーナルへ移行したためですが、いまその電子ジャーナルの購入価格が毎年値上がりし、財政的に大きな問題となっています。

国内どこの大学もこの問題で頭を痛めていることから、国立大学図書館協会ではワーキンググループを立ち上げ、経費をおさえる契約モデルの策定・価格設定について出版社と交渉を続けています。

何か抜本的な解決策がない限り、本学としても導入している電子ジャーナルパッケージのどれかが閲覧不能となる事態もあり得ます。事前の対策として、ここ1,2年のうちに、研究費が許す範囲内での必要最低限の雑誌を調査するなどして、経費抑制について検討する必要があります。

(機関リポジトリ)

国立情報学研究所が推進している最先端学術情報基盤(CSI)構築事業のひとつに「次世代学術コンテンツ基盤の構築」があります。本学もこの事業に積極的に参画し、機関リポジトリと呼ばれる電子化書庫の充実により、本学発の研究論文や調査報告書などの成果を広く国内、国際社会に発信・還元し、岐阜大学の評価、知名度を高

めたいと思っています。内容の詳細はこの号の巻末を参照してください。

(学内施設との連携)

この寸胴の前号(40号)の館蔵資料紹介No.30「地域の未来へ—館蔵自治体史と学内施設—」の中で、寄稿者の森田晃一先生(留学生センター)は、学内の貴重な史・資料の整理、保管等において「教育学部郷土博物館・地域科学部地域資料・情報センター及び図書館は有機的に結びつくべき」と提案されています。図書館としても、そうした連携協力体制のもとで、収集された史・資料を電子情報化して機関リポジトリに搭載、公開することにより、地域の歴史や文化などの研究の知的基盤として貢献できるようにしたいと思います。

(おわりに：私からの一冊とお願ひ)

この機会に、前出50人の先生方のように、私からも一冊推薦したいと思います。「致知(ちち)」という月刊誌です。心に焦点を当てて編集されており、学生のみならず教職員の皆さんにも一読を奨めたい雑誌です。昨年10月号から図書館に配架されています。全国では約20ヶ所の大学図書館に入っています。学内に致知の読者が増えれば、それだけ確実に本学の品格は高まる、これが私の信ずるところです。



「利用者が図書館を育てる」と言われます。高度情報化や国際化が進展するなか、本学図書館もそれに対応するため創意工夫に努め、スタッフもサービス向上に日々努力しています。これまでに増していく図書館を活用して頂くと共に、図書館のあり方や運営方法などについてご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

(こもり せいいち：学術研究・情報担当理事、副学長、図書館長(兼)、応用生物科学部教授)

利用者向けポイントガイド—耳寄りな情報—

(利用全般についての詳細は図書館HP等をご覧ください)

長期貸出： 夏期休業(夏休み)等の長期休暇中に長期貸出を行いますが、医学図書館では複数の有無次第で長期貸出が出来ない場合があります。

特別貸出： 卒業・修士・博士論文作成時は指導教員の責任の下で20冊・2ヶ月まで特別貸出(試行)を行います。(本館)

図書購入リクエスト： 学生からの購入希望図書を

「学生リクエスト申込書」(カウンター前の記帳台)にて受付で購入していますのでご利用ください。(予算の関係等で希望に沿えない場合もありますのでご了承ください)

グループ学習室： 利用人数に応じて各学習室を利用できますが、防音ガラスではありませんので大声を出さない等各自ご注意ください。

オープンアクセスをめぐって：図書館総合展出張報告

シンポジウム「オープンアクセスをめぐって—大学図書館と研究者の対話—」が2008年図書館総合展3日目（11/28）、横浜パシフィコにて、国公私立大学図書館協力委員会・日本図書館協会大学図書館部会主催で開催されました。

外国雑誌・電子ジャーナルの価格高騰は止まらず、日本だけでなく、世界中の大学図書館が学術雑誌の講読を維持するために苦慮しています。オープンアクセス（以下OA）は、この状況を打破し、学術情報の流通を変革するための手段であるとされ、さまざまな立場の人々・組織がこれに関わり、活動しています。

慶應大学・倉田恵子先生は基調講演で、OAとは「狭義には研究成果である学術論文の無料での入手・配布」であり、OA実現のステークホルダーとは「商業出版社、学会、政府系機関、大学図書館、著者、各種協会・団体、研究助成機関と大学」であるとされました。

マックス・プランク協会（OA推進で有名）と

Springer社からは、2007年12月に両者が合意に達した包括提携についての紹介がありました。これは商業出版社がOAや機関リポジトリに積極的に関与する画期的なものです。

日本物理学会・奥田雄一先生からはSCOAP3に対する日本サイドの慎重な反応について報告がありました。SCOAP3は研究助成機関・研究図書館によるコンソーシアムで、高エネルギー分野のコアジャーナルについて、出版にかかる費用の負担を購読者から投稿者へ移すことにより、OA化を目指しています。

大学・大学図書館は機関リポジトリの構築・運営によってOA実現の主体となりえます。本学の岐阜大学機関リポジトリ（<http://repository.lib.gifu-u.ac.jp/>）も、このような意義を持っており、著者の皆様方の協力を得ながら、学内の研究成果を発信しています。

（資料受入係 栗田 綾子）

第10回図書館総合展（パシフィコ横浜）のフォーラムについて

11月27日・28日に参加した第10回図書館総合展（パシフィコ横浜）のフォーラムについて報告します。

27日はDRF（Digital Repository Federation）主催のワークショップに参加しました。このワークショップは、機関リポジトリ（大学等の組織が組織内の生産物（論文や報告書等）を世界に公開するシステム）（以下の文では「IR」と表記）に関する情報共有の場として機能しており、今年で4回目の開催になります。

午前はIRへのコンテンツ登録が順調に増加している3大学による事例報告が行われました。どの大学もそれぞれ工夫を重ねてコンテンツ数を増やしていましたが、学内への積極的な広報を行いIRへの理解・協力を得ていることは共通しており、広報の大切さを改めて認識しました。

午後はIR事業が抱える課題のうちの4つについてのプレゼンテーションと議論が行われ、「学位論文のメタデータの標準化が必要」「ILLとIRは相互補完する」「人材育成は広い枠組みで行う」「出版社

と図書館は協力して情報流通に努める」等の共通認識を得ました。また、IRのログの分析によりIRは社会一般にとっても有効な情報を含んでいることがわかる、との報告もあり、IRが浸透しつつあることを感じました。

28日は、「BioOne」「図書館の活性化」図書館で採用が増えている「ICタグの活用」についての3つのフォーラムに参加し、BioOneの取組みやICタグの技術の進展と利用について新たな知見を得ることができました。「図書館の活性化」では国内でも元気だと言われる2つの図書館から、元気の秘訣として「視野の広い職員を育てる」「図書館に閉じこもらないこと」などのお話を伺い、元気をいたたくとともに、日常業務の中で自分に足りない点を自覚することができました。

参加することで受けた刺激を今後の業務に大いに生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

（資料サービス係 竹田 深佳）

GVRL (Gale Virtual Reference Library) の紹介

GVRL は海外の百科事典等著名なレファレンス図書の電子ブック版 (eBOOK) で、岐阜大学では7分野23タイトルの全文をオンラインで利用できます。

GVRL の eBOOK は、雑誌論文 (電子ジャーナル) データベースではなく、レファレンス図書の全文データベースです。

その特長は、以下のとおりです。

- 場所・時間の制限がない

学内のどこからも24時間検索できる。

- 検索が簡単

複数の eBOOK を同時に検索 (横断検索) でき、本文中の用語も検索対象であり、Basic Search と Advanced Search の2方法がある。

- 信頼性が高い

著名な研究者・専門家が執筆し、厳密な校閲を経て書籍として出版したもの電子版である。

- 引用が簡単

コピー＆ペースト・プリント・ダウンロードが可能なので、引用・my ファイル作成等に利

用できる。EndNote® Web (文献管理・論文執筆支援ツール) にも取り込み可能である。

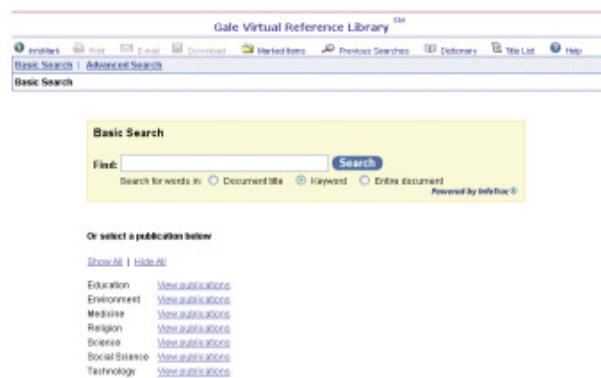
- 日本語でも読める

8言語 (日本、中国、韓国、フランス、ドイツ、スペイン、ポルトガル、イタリアの各言語) に自動翻訳 (機械翻訳) できる。

- 冊子のレイアウトで印刷可能

HTML形式とPDF形式の両方が利用できる。

- 複数ユーザが同時アクセス可能



電子ジャーナル (EJ : Electronic Journal) について

■電子ジャーナル (EJ) の利点

紙媒体の雑誌到着前からオンライン上にて各論文を閲覧でき、リンクを辿ることで容易に参考文献等のフルテキストが利用できる論文もあります。岐阜大学でのサイトライセンス契約 EJ (オンライン上で雑誌閲覧等) であれば OPAC での検索結果のリンク先 URL から EJ が利用できます。

■利用上の注意

電子ジャーナル利用規約は各提供元 (出版社等) によって異なりますが、概ね以下の事項は共通して禁止されています。規約違反行為があれば岐阜大学全体がアクセス停止措置等を受けますので禁止事項は絶対に行わないでください。

- ・短時間に大量の論文 (ファイル) を一括または連続してシステムにダウンロードすること。
- ・個人の学術研究および学習以外の目的で使用すること。
- ・営利・非営利を問わずダウンロードした論文を複製したり第三者へ再配布すること。
- ・著作権を侵害すること。

■文献検索からのアプローチ

特定の論文や雑誌名がはっきりしていない時は、先ず文献データベースで検索してください。Web of Science、医学中央雑誌、CiNii 等のデータベースでの検索結果のリンクに本学で利用可能な電子ジャーナルの掲載論文があれば全文が見られます。

(電子ジャーナルサイト上の論文検索も可能ですが、提供元サイト内の収録雑誌に限定されます)

■ユーザ登録 (無料) によるサービス

登録した雑誌の新着コンテンツや登録済み検索式の検索結果及び指定した論文が他の論文に引用された際にメール連絡を受信できるサービス等が利用できます。サービス内容は、電子ジャーナルの各提供元 (出版社等) によってそれぞれ異なります。

■リモートアクセス

次の電子ジャーナルサイトは自宅等の学外からのリモートアクセスが可能です。(要申請)
Science Direct、Springer Link、ProQuest

2009年外国雑誌購入変更リスト

2008年に実施しました雑誌購入希望アンケートを基に外国雑誌の新規購入及び購読中止タイトルを掲載します。

雑誌名	配架場所	雑誌名	配架場所
<新規購入雑誌>			
American journal of transplantation	医泌尿器科学	Laboratory investigation	医皮膚病態学
Birth	医図雑誌	Matrix biology	医皮膚病態学
Brachytherapy	医泌尿器科学	Melanoma research	医図雑誌
International journal of systematic and evolutionary microbiology : IJSEM	応用生命科学講座	Mycologia	医図雑誌
Journal of clinical sport psychology	教生涯教育	Mycoses	医図雑誌
Journal of neurosurgical anesthesiology	医麻酔・疼痛制御学	Nutrition and cancer	医図雑誌
Journal of pediatric orthopedics	医整形科学	Oceania	地域構造講座
Paediatric anaesthesia	医麻酔・疼痛制御学	Pathology, research and practice	医図雑誌
Spine	医整形科学	Pediatric dermatology	医皮膚病態学
Veterinary radiology & ultrasound : the official journal of the American College of Veterinary Radiology and the International Veterinary Radiology Association	獣医学講座	Pharmacological reviews	医図雑誌
Vox sanguinis. N.S. : journal of blood transfusion and immunohaematology / Société Internationale de Transfusion Sanguine	医図雑誌	Proceedings of the Institution of Civil Eng. Str. and build.	図本館土木工学
<購入中止雑誌>			
Abdominal imaging	医図雑誌	Proceedings of the Royal Society. Mathe. phys. eng. sci.	図本館理工学一般
AIAA journal	図本館機・精・金	Seminars in cutaneous medicine and surgery	医皮膚病態学
American ethnologist	地域構造講座	The Clinical journal of pain	医図雑誌
Annals of statistics	工応用情報学科	The European respiratory journal	医図雑誌
Annual review of nursing research	医図雑誌	The Journal of the American Society of Nephrology	医図雑誌
Applied mechanics reviews	図本館二次資料	Transactions of the ASME. Journal of applied mechanics	図本館機・精・金
Archives of general psychiatry	医図雑誌	Transactions of the ASME. Journal of biomechanical eng.	図本館機・精・金
Arthritis and rheumatism	医皮膚病態学	Transactions of the ASME. Journal of computational and nonlinear dynamics	図本館機・精・金
Australasian journal of dermatology	医皮膚病態学	Transactions of the ASME. Journal of computing and informatics	図本館機・精・金
Biochemistry and cell biology	医図雑誌	Transactions of the ASME. Journal of dynamic systems, mea.	図本館機・精・金
Biometrika	工応用情報学科	Transactions of the ASME. Journal of electronic packaging	図本館機・精・金
Cancer letters	医腫瘍病理学	Transactions of the ASME. Journal of energy resources technol	図本館機・精・金
Cells tissues organs	医図雑誌	Transactions of the ASME. Journal of engineering for gas	図本館機・精・金
Cities	地域政策講座	Transactions of the ASME. Journal of engineering materials	図本館機・精・金
Clinical neurophysiology	医図雑誌	Transactions of the ASME. Journal of fluids engineering	図本館機・精・金
Dermatologic clinics	医皮膚病態学	Transactions of the ASME. Journal of fuel cell science and t	図本館機・精・金
Dermatologic surgery	医皮膚病態学	Transactions of the ASME. Journal of heat transfer	図本館機・精・金
Deutsche Zeitschrift fur Philosophie	地域文化講座	Transactions of the ASME. Journal of manufacturing science and engineering	図本館機・精・金
Dialogue and universalism	地域文化講座	Transactions of the ASME. Journal of mechanical design	図本館機・精・金
Economic botany	図本館生物学	Transactions of the ASME. Journal of medical devices	図本館機・精・金
Ethnology	地域構造講座	Transactions of the ASME. Journal of offshore mechanics and mechanics and	図本館機・精・金
Forensic science international	医図雑誌	Transactions of the ASME. Journal of pressure vessel technology	図本館機・精・金
Genome	図本館生物学	Transactions of the ASME. Journal of solar energy engineering	図本館機・精・金
International journal of dermatology	医皮膚病態学	Transactions of the ASME. Journal of tribology	図本館機・精・金
International journal of fatigue	図本館機・精・金	Transactions of the ASME. Journal of turbomachinery	図本館機・精・金
International journal of mechanical sciences	図本館機・精・金	Transactions of the ASME. Journal of vibration and acoust.	図本館機・精・金
International journal of urban and regional research	地域政策講座	Transactions. New series	地域政策講座
International statistical review	工応用情報学科		
Journal of anthropological research	地域構造講座		
Journal of bridge engineering	図本館土木工学		
Journal of carbohydrate chemistry	図本館化学		
Journal of electron microscopy	医皮膚病態学		
Journal of nursing education	医図雑誌		
Journal of phonetics	留学生センター		
Journal of structural engineering	図本館土木工学		
Journal of the Royal Anthropological Institute	地域構造講座		
Journal of the Royal Statistical Society. Series B, Stat.	工応用情報学科		

機関リポジトリについて

各機関のリポジトリが一度に検索できるポータル（JAIRO）を国立情報学研究所が試行版で提供しています。2009年1月現在で本学を含め87機関が参加し、約57万件の論文等の検索結果から各機関のリポジトリにある本文コンテンツにリンクしています。（下図）

このように多くの機関が着手している機関リポジトリについて紹介したいと思います。

（何を登録）

学術雑誌論文（海外・国内）、学位論文、科学研
究費補助金研究成果報告書、紀要論文、会議発表論
文、図書の一部の章、テクニカルレポート・ワーキ
ングペーパー、一般雑誌記事、プレプリント、教材、
実験・観測データ、データベース、ソフトウェア、
貴重資料、その他（広報資料等）など大学の学術資
産となるものを収集します。

（なぜ登録）

大学の学術資産として次世代へ継承するために電子化して保存し、大学の研究成果としてインターネットで広く公開して社会へ還元することを目的としています。（登録と同時に学内公開となりますが、学外への公開・非公開は随時切り替えることができます。）

（いつ・誰が登録）

論文名、著者、雑誌名等を図書館で登録します。
論文の本文は、論文著者の許諾のうえで出版社等の著作権等を確認してから登録します。

①海外出版社の多くは、著者最終稿の登録を許しています。②国内の場合は、出版社版を許している

学協会と、何も許していない学協会があります。

（どのように）

出版社版が登録できる場合は図書館で入手します。著者最終稿、プレプリントの登録にはその原稿あるいはPDF版を図書館へお送り願います。印刷体の場合は図書館でPDF化します。また、会議発表資料、実験観測データ等についても同様の手順となります。

（その他）

出版社や学協会が関連する場合は電子ジャーナルの本文への参照リンクを付けることなど登録に必要な注記は図書館で調査します。また、資料の中の人物写真・引用図版等についてもインターネットでの公開には十分に注意を払うことが必要となります。

（別の観点から）

雑誌の頁数の制約から制限された図版、データ集、補足説明、正誤表など機関リポジトリを有効に利用していただけないかと思います。

また、本学への留学により学位を取得した方には、Web上の本学の書架に博士論文が並ぶこととなり、いつでも自国の人々に本文を閲覧してもらえることになります。

機関リポジトリに登録しておけばパソコンがダメになっても安心です。

（お願ひ）

本学においても、研究紀要論文等から着手して、現在は雑誌発表論文等の著作権を調査して先生方に論文本文の提供をお願いする段階となっています。
今後ともご協力をお願いします。

